



2026年 7月10日
第5号

JR東労組 
Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



JR東労組横浜地本第31回定期大会発言

個人面談内容 情報漏洩

「一人の管理者の問題ではなく会社の企業体質の問題だ」

社員の目標設定や異動希望などを把握するために、職場の管理者によって行われる個人面談。今では1on1 ミーティングなどもあり、ありとあらゆる場で管理者とのコミュニケーションを図るとしています。しかし、ある職場で、そんな個人面談の内容を管理者が一般社員に漏らしている事実が発覚しました。

管理者が個人面談や1on1 ミーティングなどで社員から得た内容は、センシティブな情報であり、慎重に取り扱わなければなりません。今回は、管理者が第三者である一般社員に「〇〇は」と実名で内容を話していることから、個人が特定できる個人情報として扱われる内容で断じて許されるものではありません。

【A 社員の場合】



家族は「今のままでも、転職してもかまわない」と言ってくれています。
※転職は希望していない

俺は止めないよ。

事実と異なることが噂され不安！
傷つけられた！



〇〇社員は、
転職したがっている。

面談内容が漏れてる！
話がねじ曲がってる！



【B 社員の場合】

※業務中



異動して2ヶ月なので、まずは営業を習得したうえで、その後、未経験の信号業務に携わりたいと考えています。

信号は、普段の業務やPT など様々な活動を精力的に取り組んでいる人しか入れない。
君は頑張っているように見えない。



〇〇社員は、接客が嫌いだから信号業務を希望しているようだ。そのような人間は信号には絶対に入れない。

社員に寄り添っていない！

「グループガバナンスの改善に向けた取組み」を打ち出すも会社に自浄能力はない！
今こそ労働組合のチェック機能が必要だ！JR東労組に結集しよう！